

見る人を魅了し楽しくさせる

塩釜高校ダンス部

全国大会で楽しく表現

塩釜高校には、およそ15年前に活動を開始したダンス部があります。現在は1・2年生で合計60人の部員が所属し、ダンス部に入部したために塩釜高校を受験する人もいるほどの人気の部活動です。

今夏は「全国高等学校ダンスドリル選手権」「日本高校ダンス部選手権ダンススタジアム」の全国大会に出場しました。「ダンススタジアム」の東北代表として出場した2年・部長小野七海さんは、「全国大会の舞台は夢のようで緊張しましたが、楽しく自分たちのダンスを表現できたと思います。結果を残せなかったのですが、来年は入賞できるように頑張りたいです。」と、意気込みを話しました。



▲日本高校ダンス部選手権での集合写真



▲曲や振り付けは生徒同士で話し合っ決めてます



▶練習風景。生徒が自主的に練習を行っています

塩釜高校ダンス部も出場！  
ESP DANCE PES2018 開催

とき 12月2日(日)14:00~16:30  
ところ ふれあいエスパ塩釜  
対象 どなたでも ※観覧自由

問 塩釜高校東キャンパス ☎36210188

市内イベントを盛り上げる

塩釜高校ダンス部は、「塩竈みなと祭」や「教育フェスティバル」など市内イベントにも数多く参加し、迫力あるダンスで会場を盛り上げています。また、障がい者の方と一緒に振り付けを楽しむなど、ダンスを通じていろいろな方との交流も行っています。



シリーズ  
塩竈の魅力再発見⑧

自然と人が集まるコミュニティの場

「神社には多くの歴史的建造物や遺産があり、県内有数の観光名所の中の一つですが、ほかにも、たくさんの魅力があります」と話してくれたのは、志波彦神社・鹽竈神社 禰宜の小野道教さんです。

志波彦神社・鹽竈神社の参拝者数は年間100万人を超え、塩竈市の観光客のうち約半数が訪れています。

小野さんは「七五三詣や神前結婚式などで参拝したときに、全国から訪れた参拝者が、知らず知らずのうちに『おめでとう』と声をかけて、お祝いをしている姿をよく見かけます」と話し「こうした光景は“神社という場所だから”かもしれません」と続けました。

「地元の皆さんにとって、神社は当たり前の風景です。特に呼びかけたわけでもなく、朝早くから、ウォーキングやラジオ体操のために自然と人が集まっています。ほかにも、春の桜や、秋の紅葉など、季節ごとの景色を愛でたり、憩いを求めたりして、足を運んでいただいています」



小野さんは「神社は、日本らしい景観と見応えあるたたずまいを魅力としています。そこに自然と人が集まる“コミュニティの場”としての魅力も兼ね備えていますね。このような魅力を多くの方に伝えていきたいです」と話してくれました。

皆さんが、発見した塩竈の魅力をメールにて教えてください。



志波彦神社・鹽竈神社  
禰宜 小野道教さん

問 観光交流課人・まち交流係 ☎364-1165  
Eメール kankou@city.shiogama.miyagi.jp

